



### 當選者二十八人の 得票は五十三四票

#### 役場と平署の観測

#### 六十票で當選けん内

平町における町議選舉は一週の後を追つたので廿六の各候補は入亂れて得票のつき集めに狂奔してゐるので曾て見ざる程の大混戦に陥つてゐるが今回の町議戰は

一場面 を演出して當落は決定するものであるが平町役場吏員の観測と平署の観測とを綜合すると定員三十人に對する二十八人の得票は五十三四票を往來するらしく故に六十票を得る候補者は完全に當選圏内にあるものと見られて居る

#### 平町洪水被害

#### 役場の調査

平町役場では過般の暴風水害で家屋の倒潰破損損失或は床下浸水等について調査中であつたが二十六日左の如く發表した

#### 良質醬油を 褒賞を授與

#### 京都博から

昨秋京都市に開催された御大禮博覽會に醬油を出品した平町山崎合名會社並に小野園次郎氏に對しこの程平町役場を經由の上同博覽會の事務局より山崎合名は銅牌に褒狀小野氏は褒狀を夫々贈られた

#### 石城桑園被害

#### 石城郡養蠶同業組合では去る二十三日の暴風水害のために冠水或は流失した郡内桑園

について調査中であつたが二十六日左の如く發表した(冠水)大野村五十八町步山田村四十町步上下小川村五十町步泉村三十町步植田村四十七町步赤井村六十町步勿來町廿五町步川部村十町步(流失)山田村二町步

#### 四倉の 繭市場開場

#### 低資の融通

石城販賣利用組合では来る六月十日から四倉繭市場を開場する事と決定したが同組合資金が乏しいので昨年同様中央金庫より低利資金十萬圓の融通を受ける由

#### 薰風の旅

#### 平商修學旅行團

(第二信)碧天一塵を浮べずの快晴に我等一行は横濱の埠頭にたどりついた其處には魔物の如き巨大極まる香取丸が戦鬪の前の静寂の一時間のものを如くじつとして息をひそめて居る、一行は船員の案内に船室に行くべく異様にむさくさする處を通じてベットの上下に取付けたる室に入り込んだ其の室たるや地獄の如き處にしてせまじき嬉々も一同珍らしさに嬉々し



和洋支の芍薬 (上) 家庭欄

#### 和洋支の芍薬

◆……芍薬には日本種と、支那種と洋種があり、何れも相當愛養されてゐる、日本種は山芍薬と呼び、高尾大山其他の山中に野生し、淡赤い花を開く、支那種は單に芍薬と呼び、白花のものも盛んに各地に栽培したが、今では其變化性を應用して種々の變りものを作り出し、専ら觀賞用として

て破顔怡々たらざるものなし、見送人の數數分事に増し、非常なる盛觀を呈す、一聲高き汽笛と共に船はスクロコイの音も勇ましく回轉初めた、出發の用意だ、同時に見送人は袂別を惜む爲め手に「パー」を保持す、「パーパー」と船めがけて投げる又船からも返す種々の色彩のテープがくもの巢の如く縦横にはられ愛情の結晶となつて居る、其の單なる虚榮的外交的的色彩形式でなく愛情の切々たるものであらう、此の一本のききなな最後は永久の袂別となつた例も少くない、轟々たるスクロコイの音と共に巨船香取丸はゆるやかに埠頭を離れた、おう壯觀さよ、見送るも見送らるも觀喜おく處知らず、そして遂に船は渺々たる大海原に躍り出て神戸へさう進出した、快談湧くが如くして時の移るを知らず、はや横濱の埠頭は遠く彼方に淡霞唯目に入るものとては踊る波に怒れるスクロコイの音のみ約一時半を經て頭左手に突出せる觀音崎を望み四時間を經ては右手に伊豆の大島を展望したデリケートなエビットののちある城ヶ島を見た、夕方近く完全に船は大海原に出て居つた。懐しの山も見えなくなつた船尾を見れば泡の立つ波が後方か帯形をなして

見ゆる、何時の間にかあたりは夕もやに包まれ金色の光は淡く水水平線の彼方に没した。たま／＼水鳥の亂れ飛ぶの眺めつゝ船腹の一角に立ち眺める昔日本海の大戦に日本興亡の如何を號令一喝決斷勝利した海の王者東郷大將の面影を浮べ壯快な氣持寫つた、合圖の鐘の下に我等は夕飯を済まして十時頃眠り、深き眠から醒めた其の時船尾にあつて日の出と云ふ聲が船中に満ちた、おう壯絶と云ふか壯絶と云ふか水水平線の彼方に金光さんせんとして水面に現はれば黄色の光波の面に走り金粉を散らしたるが如し新鮮な朝の喜び一行はしきりに騒ぎ氣持よく朝飯を済ました、左手に瀬戸内海の淡路島を見右手に鹽崎の島を望む波は鏡の如く平穩にして其の上をすべるが如くして神戸港へと這入つた近くには英國のや我が國の軍艦も二三見えた一同は珍しげに甲板に走り出つ、二十一日午後一時四十分無事神戸港についた、旅すれば智湧くとかやげに然り

の日明 報豫氣天 北東の風 曇り勝ち

### 町議 八面鋒 (一)

#### 候補 緋緘鎧の

年小候補者二丁目關内正一氏は緋緘鎧の若武者にも似まほしき活躍を續けて居る氏は人も知る如く聲中を卒業後早稲田大學を出で關内油店主人として平町商業界に勇飛するの傍ら消防小頭に擧げられ公共に盡瘁する熱誠の士と認められた結果同町有志の推舉を受く、青年町議として此の人の出現は蓋し平町普選の第一頁を飾るに足る

### 丹熟老成の

#### 青沼鋒太郎氏

多年官界に身を置き手腕力量共に丹熟現在町議壇上に生字引を以つて任じ得る人は青沼鋒太郎氏また氏は人格者として世間萬人の認むる處知識階級の有権者に多數の得票を數へつゝあるは宜なりと云ふべしである

### 俠骨の人

#### 遠藤林松氏

邪を打ち正に組すの氣概に燃ゆる遠藤林松氏は俠骨の人河野警州翁の遺風を慕つて二期八年間あるゆる誘惑を去け飽迄も一人一黨主義

を以つて町議の席に身を置き正義の爲めに健闘今日に及ぶ普選壇上一服の清涼劑

### メスを揮ふ

#### 大森勇氏

刀圭界にメスを執る大森勇氏は町治の上に鋭きメスを縦横に揮つて病根のてき出に努むべく蓋し好適材材の徳望を町政に反映せしめるこそ平町百年の大計を樹立し得る事が出来る

### 主角を現す

#### 根本品藏氏

月見町の根本品藏氏は其の名の示す「品」の一字に似つて角張れる人、即ち徒らに妥協苟合を是れ事とする

### 努力の賜

#### 緑川喜三郎氏

最初は當選の可能性なしと見られて居た緑川喜三郎氏今では形勢一變の觀がある是れ努力の賜、然り氏は力行者の人、打たば響くの腕り所有者彼れ弱しと聞いて同情豪然と集る好漢自重せよ

### 選舉立會人

#### 四名決定さる

平町會議員選舉立會人は左

### 新妻氏當選

#### もんだ揚句

石城郡四倉町長の後任決定については數回招集した町會が都度流會となつて來たので去る二十三日最後の町會によつてこれを決定すべく午前十時から町會を招集したが例によつて容易に決せず休憩を重ねた揚句漸く同日午後八時に至り後任と擬せられてゐた四倉電氣會社社長新妻氏に決定した

記四名に決定本日伏見町長より發表さる 會川卯三郎、星野清吉、山野邊義政、眞木恒 四倉町長に